

瑞宝単光章

(ずいほうたんこうしょう)

〜おめでと〜ございます

平成25年度春の叙勲で、松本吉幸さん(石堂)が、瑞宝単光章を受章しました(消防功労)。この瑞宝単光章は、国家または公共に対し功労があり、公務等に永年従事し、功績を挙げた人を対象に贈られるものです。

松本さんは、35歳で消防団に入団。以来、34年5ヶ月に渡って消防活動に従事しました。昨年3月末まで築上町の消防団副団長を努め、消防行政の発展に寄与した功績が認められ、今回の受章となりました。

今回の受章について松本さんは、「このよつな章をいただき光栄です。受章は団員の方をはじめ家族のおかげです。とても感謝しています。皆さんの生命と財産を守ることが消防団の役割だと思いつつ活動してきたことが、こういう結果になりました。」と長い消防団生活を振り返り、喜びを話されました。



町長室だより

築上町長 新川 久三

暑中お見舞い

申し上げます

早く梅雨が明けてほしいものです。7月は一年のうちで一番暑い月となります。町民の皆様には如何なる対処で暑気をお払いでしょうか。

宇都宮鎮房公で地域振興

来年の大河ドラマに「軍師官兵衛」が放映されることになりました。黒田官兵衛といえば、中津市に十数年間中津城を築き、豊前国のほぼ半分を豊臣秀吉から領地として拝し、隠居後は如水と称して長男長政に家督を譲り、福岡藩に領地換えになった、戦国時代有数の軍師です。
中津市では大河ドラマ

「軍師官兵衛」推進協議会、福岡県と福岡市が中心の「軍師官兵衛福岡プロジェクト協議会」が設立され、本町は双方に加入しています。本町は、黒田官兵衛の最大の宿敵、宇都宮鎮房のゆかりの地です。この大河ドラマをきっかけに、本町においても宇都宮氏と黒田氏ゆかりの史跡整備、宇都宮氏ゆかりの特産品開発等々の地域振興のため「宇都宮関連事業連絡会議」の準備会を6月13日に行い、7月中旬に連絡会議を発足することに決定しました。

宇留津城陥落

私たちの築上町は旧築城郡に属し、1185年から400年間、宇都宮家の領地として栄えてきました。しかし、豊臣秀吉は九州

統一のため、薩摩の島津攻めを開始します。馬ヶ岳城の長野氏や小倉城の毛利氏を屈服させ、次に島津氏と盟約を交わした香春岳城の高橋氏を攻める前に、加来氏の宇留津城を攻めようとなりました。加来氏は高橋氏に城主の父親を人質に入れており、また宇留津城には島津軍が大勢集結していたからです。吉川軍、毛利軍、小早川軍の中国勢に長野氏など現地軍を加えた連合軍は宇留津城に大きな濠があり攻め倦んでいましたが、見視役の黒田官兵衛と家臣の後藤又兵衛、母里太兵衛等々が一匹の白い犬が濠の浅瀬を歩いて渡っているのを見て、その箇所から攻め、一晩のうちに城は陥落したそうです。1586年11月7日のことでした。

宇都宮と黒田の攻防

北部九州をほぼ平定した秀吉は、大阪を出発し小倉城に入ります。この時、この地の豪族は秀吉詣でをし

ていましたが、鎮房公は病気を理由に長男の朝房を名代として派遣しました。秀吉はこれを不服として四国伊予への国替えを宇都宮鎮房に言い渡しましたが鎮房公は抵抗を余儀なくされました。

一方、官兵衛は秀吉の命を受け、宇都宮攻めを何回となく行いましたが、堅固な宇都宮の守りは突破することができませんでした。この詳しい宇都宮と黒田の攻防内容は8月号で書かせていただきます。

では町民の皆様にはご自愛をいただき、くれぐれも体調を壊さないようについでください。



▲「宇都宮関連事業連絡会準備会」